《担当者名》 宮地普子 miyajih@hoku-iryu-u.ac.jp 八木こずえ 中安隆志 白坂知彦(非) 田辺 康(非)

【概要】

精神に障害をもつ対象者への看護実践に必要である代表的な精神疾患についての概念、および精神科医療における診断、治療法、回復過程に応じた看護について学ぶ。

【学修目標】

1. 代表的な精神疾患の概念、症状、診断基準、治療の概要が説明できる。
2. 精神症状の観察、および精神科で行われる検査、治療に伴う看護が説明できる。
3. 代表的な精神疾患の回復過程、看護の方法について説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	ガイダンス	対象理解に必要な視点を説明できる。また、講義のねらいと構成・進め方、評価方法について知り、予習・復習を含めた受講計画を立てる。	宮地
2	精神症状の捉え方 1	精神症状と状態像の捉え方、精神症状を示す対象者の観察方法を説明できる。	宮地
3	精神症状の捉え方 2	主要な精神症状について専門用語を用いて説明できる。	宮地
4	精神科で行われる検査	主な検査の種類と目的、治療・看護への活かし方を説明できる。	宮地
5	精神科の診断・治療	精神疾患の診断と分類、精神科医療の基本：面接と治療概論を説明できる。	白坂
6	アルコール依存症	概念・原因・症状・治療プロセスを説明できる。	白坂
7	統合失調症	概念・原因・症状・治療と看護の方法を説明できる。	中安
8	双極症、抑うつ症	概念・原因・症状・治療と看護の方法を説明できる。	八木
9	不安症、心的外傷後ストレス症、解離性同一性症	概念・原因・症状・治療と看護の方法を説明できる。	八木
10	神経性やせ症、神経性過食症、パーソナリティ症	概念・原因・症状・治療と看護の方法を説明できる。	八木
11	災害時におけるストレス関連症群、解離症群	概念・原因・症状・治療プロセスを説明できる。また、災害時および国際的支援の実際を説明できる。	田辺
12	不眠症・せん妄	概念・原因・症状・治療プロセスを説明できる。	田辺
13	自閉スペクトラム症、注意欠如多動症	概念・原因・症状・治療と看護の方法を説明できる。また、精神看護専門看護師(リエゾン)の活動を説明できる。	東谷敬介(特別講師) 八木
14	精神病態に伴う治療とケア 1	薬物療法・電気けいれん療法の概要と看護を説明できる。	中安
15	精神病態に伴う治療とケア 2	心理社会的療法の概要と看護、緊急時の看護を説明できる。	中安

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験100%

【教科書】

系統看護学講座 精神看護の基礎 精神看護学 医学書院
 系統看護学講座 精神看護の展開 精神看護学 医学書院

【参考書】

中井久夫・山口直彦著 看護のための精神医学第2版 医学書院 2004年

【備考】

授業時間中にGoogle Formを活用して授業の理解度や考察内容を把握する。

【学修の準備】

各回の教科書の該当部分を読んで臨むこと（予習復習1時間）

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2：看護専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。

DP4：保健・医療・福祉をはじめ、人間に関する様々な領域の人々と連携・協働できる能力を身につけている。

【実務経験】

宮地普子(看護師)、八木こずえ(精神看護専門看護師)、中安隆志(精神看護専門看護師)、白坂知彦(医師)、田辺康(医師)

【実務経験を活かした教育内容】

精神科病院での看護師、精神看護専門看護師としての実務経験を活かし講義を行う。

精神科病院での医師としての実務経験、および国際支援活動の実務経験に基づき講義を行う。

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している